


パプアニューギニア陸上鉱区における試掘成功について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、子会社のジャパンエナジー石油開発株式会社(本社:東京都港区赤坂一丁目、社長:松井 均)が出資するマーレイ石油株式会社を通じて、パプアニューギニア陸上「PPL190」鉱区において、オーストラリアSantos社等と共同で石油探鉱を実施していましたが、このたび、試掘1号井「Bilip-1」において、日量約2,000バレルの原油(API:46度)の産出を確認しました。
2. 本試掘井は、去る10月17日に掘削を始め、深度2,423~2,453mにおいて30mの油層を確認し、12月4日、深度3,350mで掘り止めました。その後、油層内において産出テストを実施した結果、今回の出油を確認した次第であります。
3. 今回発見した油田全体の埋蔵量規模については、今回のテスト結果および今後の探掘等の評価作業に基づいて算定することになりますが、本試掘井は、当社関係会社のサザンハイランド石油開発株式会社が原油生産中の「SE Gobe油田」の東10kmと近い位置にあることから、商業規模の埋蔵量が確認されれば早期生産が可能と考えております。
4. また、今回の発見は、「SE Gobe油田」からつながる系列が「PPL190」鉱区に伸びることを示すものであり、本鉱区の探鉱価値が高まったこととなります。

● 【参考資料】本文中記載関係会社の概要、PPL190鉱区の概要および鉱区位置図

1. ジャパンエナジー石油開発株式会社の概要
本社:東京都港区赤坂一丁目
社長:松井 均
設立:1982年4月
資本金:4,980百万円
株主構成:当社100%
2. マーレイ石油株式会社の概要
本社:東京都港区赤坂一丁目
社長:松井 均
設立:1997年3月
資本金:603百万円
株主構成:石油公団58%、ジャパンエナジー石油開発(株)26%、石油資源開発(株)8%、帝国石油(株)8%
3. サザンハイランド石油開発株式会社の概要
本社:東京都港区赤坂一丁目
社長:松井 均
設立:1990年10月
資本金:4,330百万円
株主構成:石油公団50%、ジャパンエナジー石油開発(株)30%、石油資源開発(株)10%、帝国石油(株)10%
その他:SE Gobe油田より生産中(1998年生産開始、生産量約1万b/d)。
同油田における保有権益比率24%。
4. PPL190鉱区の概要
取得:1997年、探鉱鉱区
位置:パプアニューギニア・ポートモレスビー市の北西約450km
権益比率:Santos社(オペレータ)31%、Oil Search社31%、マーレイ石油27%、Cue社 11%
5.  鉱区位置図 (PDF:160KB)

以上